

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	国保料賦課収納事業			会計	款	項目	大	小
				02	01	02	01	01
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保険年金課				
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり	主管課長	今野 忠光				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	国民健康保険料納付義務者	意図	主たる財源である保険料収入を確保し、財政運営の健全性を保持するため。
事業内容	国保に加入することにより、被保険者の前年度所得、世帯構成に応じて、国保料を賦課及び収納する。また、保険料の仕組みについて周知を行う一方、滞納者や納付が遅れる被保険者については個別の状況に応じた徴収を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成2年度までは国保税として賦課収納していたが国保料へと移行した。また、平成20年度から介護保険料、平成21年度からは後期高齢者医療制度保険料と合わせて収納する。近年は増え続ける医療費に対し、ひと世帯当たりの保険料も増え、収納業務自体が難しくなっている。今後も引き続き、収納体制の強化を図っていく。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	保険料収納率（現年度）	91.65	92.70	93.12	%	↑↑↑	還付未済額を除いた収入済額／調定額
②	保険料収納率（繰越分）	38.15	44.07	44.60	%	↑↑↑	還付未済額を除いた収入済額／調定額	
③	差押件数	321	323	217	件	↑↑↑	参加差押を含む	
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 督促に従わない未納者に対しては、徹底して催告及び滞納処分を実施することで、年々収納率が向上している。今後も引き続き滞納整理を実施するとともに、納付環境の改善に努める。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		79,250,796	73,443,424	69,358,850				
事業費(b)(円)		26,316,558	26,039,434	24,504,650				
うち一般財源		26,316,558	26,039,434	24,504,650				
職員給与費(c)(円)		52,934,238	47,403,990	44,854,200				
人役・職員(人)		6.00	5.00	5.00				
人役・再任用(人)			1.00	1.00				
人役・臨職(人)		10.25	9.25	7.25				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	滞納管理システムの設置者であるDSKと連絡を密にし、システムの改修及び整備を行う。	③取組における課題(Check)	事務及び滞納整理のより一層の効率化を目指し、滞納管理システムを最適化する。また、流山市税等コールセンターが新規事業として導入されたため、効率的な催告方法を模索する。
②H30に実施した取組(Do)	滞納管理システムの改修を行い、事務及び滞納整理の効率化を図った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	滞納繰越額を減少させるため、口座振替率の向上を図る。また、流山市税等コールセンターにおいて、積極的に文書催告も行い、保険料のより一層の収納率向上を図る。